

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
穴吹動物専門学校	平成19年3月30日	藤井 悦子	〒720-0052 広島県福山市東町2-3-6 (電話) 084-931-3325																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人穴吹学園	昭和25年12月16日	穴吹 薫	〒720-0052 広島県福山市東町2-3-6 (電話) 084-931-3325																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
商業実務	商業実務専門課程	動物看護総合学科	—	—																		
学科の目的	動物看護・美容の知識・技術を習得するとともに、大学との連携により動物高度獣医療を学ぶことで、動物業界の指導的立場になれる優秀な人材を育成することを目的とする。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																
3	昼間	2850	1530	—	1320	—																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
105	59	0	5	8	13																	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 年2回の期末に科目毎の評価を行い、年度末に通年の評価を行う																		
長期休み	■夏季休業 7月から9月で校長が定めた期間 ■冬季休業 12月から1月で校長が定めた期間 ■春季休業 2月から4月で校長が定めた期間		卒業・進級 条件	年間出席率80%以上 全履修科目評価C以上 検定取得、修了、卒業制作合格 学費納入																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 担任からの電話連絡、文書送付 保護者を交えての面談		課外活動	■課外活動の種類 学園祭での実行委員会、学校説明会での来校者の対応、案内、 学校生活の紹介、説明等、クラブ活動 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報)																		
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 動物病院、ペットショップ ■就職指導内容 就職部の専任担任者を中心に、クラス担任とも連携して指導する。 入学直後のオリエンテーション、就職希望調査、履歴書等作成指導、就職 活動研修及び個別ガイダンスの実施 ■卒業者数 17 人 ■就職希望者数 16 人 ■就職者数 16 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 94.1 % ■その他 (平成 30 年度卒業生に関する 令和元年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>動物看護師統一認定試験</td> <td>③</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>JKCC公認トリマーC級</td> <td>③</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>実践動物飼養管理士1級</td> <td>③</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	動物看護師統一認定試験	③	17	17	JKCC公認トリマーC級	③	13	12	実践動物飼養管理士1級	③	17	17
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																			
動物看護師統一認定試験	③	17	17																			
JKCC公認トリマーC級	③	13	12																			
実践動物飼養管理士1級	③	17	17																			
中途退学の 現状	■中途退学者 3 名 ■中途退学率 6.1 % ■中途退学の主なる理由 進路変更、クラス内での人間関係等 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任のカウンセリングスキルアップのための取り組み、発達障害等の問題学生への対応の仕方を定期的に研修																					
経済的支援 制度	穴吹カレッジ特待生制度、高資格・検定取得者特待制度、在校生・卒業生の親族入学優遇制度、家賃支援制度、遠方奨学生制度。 下記、経済的理由のいずれかに該当する修学困難な世帯の学生より、審査を行い、そのうち学校で1名について授業料20万円を減免する。 (生活保護費受給、個人住民税所得割が非課税、所得税が非課税、保護者等の失業、倒産などによる家計の急変の方)																					
第三者による 学校評価	現在は行っていません。																					
当該学科の ホームページ URL	http://web.anabuki-net.ne.jp/apf/																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

- ①「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
- ②「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
- ③「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。
- ④「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

- (1)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
- ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
- ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
- (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

常に業界の最新の技術動向に対応できるスキルを習得できるよう、企業等の意見、情報収集を定期的に行い、教材、授業方法等について工夫・改善を実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

校長を教育課程編成委員長とし、他の委員にて協議した結果の最終判断者とする。

副校長は教育課程編成委員の副委員長として委員長を補佐する。

その他の委員は、自由な立場で学科、学校の教育活動に対する提言、意見を述べる事ができる。

教育課程編成委員会でまとめられた答申は、教務部への提言、検討を経て、設備投資や新規採用が伴う案件は理事会で諮られ、審議され、採決されたものは改善活動へとつながる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
村瀬 敏之	鳥取大学 農学部 共同獣医学科	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	②
桧垣 幸次	三宅動物病院	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	③
小畠 茂樹	(一社)ジャパンケネルクラブ	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	①
藤井 悦子	穴吹動物専門学校 校長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	
信岡 誠三	穴吹動物専門学校 副校長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	
壽福 英尚	穴吹動物専門学校 教務部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	
林 勇樹	穴吹動物専門学校 教務課長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	
田上 真紀	穴吹動物専門学校 教務部主任	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年に2回を必須とし、その他、必要に応じて臨時に開催する。開催時期:11月、3月

(開催日時(実績))

第一回 平成30年11月7日 14:30～16:00

第二回 平成31年3月20日 14:00～15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

平成30年度カリキュラムについて、専攻制から学科制に変更するため、練り直しが必要。

各科目について看護系で必要か、不要かを確認。

コアカリキュラムに基づき必要な科目を追加し、不要な科目を削除する。

カリキュラム内容を協議し、カリキュラムを確定する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等から講師派遣や専門科目における教授内容や授業方法について助言、指導を受け、より実践的、専門的な内容を提供する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

協定書に基づき、企業側の意見やアドバイスを参考に、演習課題の設定を行い、企業側担当の授業部分に関しては、期末の評価を加味している。

関連分野の最新の事例や動物看護現場における最新動向などを教示いただき、授業資料として使用している。

「動物臨床検査学実習」においては、鳥取大学と事前に授業内容の打ち合わせを行い、鳥取大学の先生から直接指導いただいている。

「アニマルセラピー(AAA)」においては、事前に提携先と打ち合わせを行い、参加予定人数を確認のうえ、犬の頭数や当日の内容を確定させ、参加者(主に未就学児)の安全を考えながら実施している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
動物内科看護学実習Ⅰ・Ⅱ	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する	保永犬猫専門病院 千寿製薬株式会社
動物臨床検査学実習Ⅰ・Ⅱ	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する	鳥取大学農学部附属動物医療センター
動物外科看護学実習Ⅰ・Ⅱ	手術準備や術中・術後管理、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する	あべ動物病院
アニマルセラピー(AAA)	介護施設や幼稚園などを動物同伴で訪問することによりAAA活動を実践する。	ユウベルキッズランド
動物看護総合実習Ⅰ～Ⅳ	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身につけた知識や技術を総合的に実践する	ふじい動物病院他23社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員規程に基づき、毎年2月には来年度の人材育成、研修計画を立案している。
 目的は、業界の動向に注目し、常に最新の知識・技術を身に付けるため。
 並行して教員としての指導力をさらに高めるため、授業スキルの研修も定期的に企画実施。
 学生からの授業アンケートや保護者アンケートをもとに、改善が必要な教員については特に重点的に研修を行い、授業モニターにて改善度合いをチェックする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

・動物行動学セミナー(看護師、獣医師対象)
 日程 平成30年6月13日(水)
 講師: 日本ヒルズ・コルゲート(株)入交 真巳先生(獣医行動学専門医)

・動物取扱責任者研修
 日程 平成30年6月14日(水)
 講師 福山市動物愛護センター 職員3名

・トリミング検定員資格試験及び教職員研修
 日程 平成30年8月28日
 講師 JKCTリマ―審査員 飯田 慎司 氏

・日本動物看護学会
 日程 平成30年10月27日(土)～28日(日)
 講師 日本獣医師会副会長 酒井 健夫 氏 他

② 指導力の修得・向上のための研修等

・JKCTリマ―義務研修
 日程 平成30年8月29日(水)
 講師 JKCTリマ―審査員 飯田 慎司 氏

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

授業内容を就職先の業務内容に連携させるため、また、教員の知見を広げるための講演会等に年間を通して専門科目担当教員を参加させる。
 動物行動学特別講演会を実施。動物行動学の入交先生による講演会。
 連携先の株式会社社内海によるセンサーの扱い方講座。

② 指導力の修得・向上のための研修等

連携先の全国専門学校教育研究会および、穴吹教育総合研究所が企画する研修を中心に、次に挙げるテーマを優先して参加させる。
 「退学防止とクラス運営」「学生モチベーションとセルフコーチング」「アクティブラーニング」「キャリアサポート」
 ※対象はクラス担任、学科担当教員。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ① 関係者ならではの視点で具体的かつ実践的な評価を受ける
- ② 自己点検評価の適正化、妥当性を客観的に評価する
- ③ 結果として、職業に必要な実践的かつ、専門的な能力がより習得できる改善計画を立案し、PDCAサイクルを回し続ける

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか 教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか 学外に対して教育理念等を明文化し、公表しているか 各就業期間における教育目的、教育目標、教育計画が文書化され提示されているか
(2) 学校運営	理事会が定期的で開催されているか 評議員会が定期的で開催されているか 運営会議が定期的で開催されているか 人事規程が文書化されているか 決裁規程が文書化されているか 個人情報保護規定が文書化されているか
(3) 教育活動	学校の年間スケジュールはあるか シラバスあるいは講義要項等が作成されているか 学生によるアンケート等にて授業評価が定期的に行われているか 結果に基づく教育面接を実施しているか 結果に基づく授業観察を実施しているか 結果に基づく教育のレポート、改善計画等が作成されているか 授業改善のための組織的取り組みが行われているか キャリア教育などが行われているか
(4) 学修成果	学生の就職に対する目標を設定したか 資格・検定・コンペに関する目標を設定したか 退学率の目標を設定しているか 卒業生の進路、就職先等を公表しているか
(5) 学生支援	進路、就職に関する支援体制は整備されているか 学生相談に関する支援体制は整備されているか 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか 課外活動に対する支援体制は整備されているか 卒業生への支援体制はあるか
(6) 教育環境	学校生活におけるリスクマネジメントとして保険に加入しているか 防災・防犯設備が整備、点検されているか 施設、設備の保守・点検が定期的に行われているか
(7) 学生の受入れ募集	学校案内等には育成人材像が明示されているか 学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか 学校案内等には学費、教材費等が明示されているか 入学に関する問い合わせ等には適切に対応できる体制ができているか
(8) 財務	年度予算、中期計画は策定されているか 予算は計画に従って妥当に執行され、定期的に確認されているか 会計監査体制のルールが明確化されているか 会計監査の結果報告が文書等で明確化されているか

(9)法令等の遵守	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか 自己点検・評価報告書があるか 自己点検・評価報告書が公表されているか
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

- ・学校関係者評価委員から授業の充実と全体の学力の底上げを図ることは継続して欲しい。
→リメディアル教育として実施中の入学前の「eラーニング」の中身の充実と入学後の「学びラボ」の充実を図る。
- ・保護者に学校をより知ってもらうための施策。
→クラス通信を定期的(年2~3回)発行しており、今後も継続していく。
- ・担任以外に学生の健康管理やメンタルヘルスについて相談できる体制はどうなっているのか。
→次年度からカウンセリングルームを設置し、カウンセラーを置き、希望の合わせたカウンセリングを可能にする予定。
- ・卒業生への支援状況について。
→卒業生も参加可能な動物看護セミナーを12月に開催した。開催時期や曜日を検討して、次年度以降も継続する。
- ・トリミング実習環境の整備状況を教えて欲しい。
→実習に必要な機器は不足がないように購入や修理をしている。ドライバーは10年以上使い故障が多くなり、買い替えながら整備している。
- ・実習授業に危機管理の内容を盛り込んで欲しい。
→動物看護、トリミングともヒヤリハットに関することを授業内で繰り返し伝えるようにする。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中川 雄太	三宅動物病院	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	企業等委員
亀山 杏菜	あべ動物病院(有エイベット)	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	企業等委員
田島 建彦		平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	元高校関係委員
後藤 千尋		平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	卒業生代表委員
中川 千鶴		平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	卒業生代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
ホームページにより8月頃公開

<http://web.anabuki-net.ne.jp/data/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育に関わる情報について原則、公開する
定期的に更新し、最新の情報を提供しよう努める
情報の提供に際してはインターネットでの提供を基本とする
統計的な情報については算定方法など根拠となる情報も同時に提供する
個人情報の扱いに留意し、特定の個人が特定できない情報として提供する

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校名、所在地、学校の沿革、歴史 学校の教育、人材養成の目標及び教育指導計画 経営方針
(2)各学科等の教育	入学に関する受け入れの方針及び入学者数、収容定員、在学学生数、カリキュラム、時間割、年間の授業計画 進級・卒業の要件 資格取得、検定試験合格等の実績 卒業生数、卒業後の進路

(3)教職員	教職員数 教職員の組織、教員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況 実習・実技等の取り組み状況 就学支援等への取り組み支援
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況 課外活動(部活動、サークル活動、ボランティア活動)
(6)学生の生活支援	学生支援の取り組み状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取り扱い 活用できる経済的支援措置の内容等
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己評価、学校関係評価の結果 評価結果を踏まえた改善方法
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページにて公開

<http://web.anabuki-net.ne.jp/data/>

授業科目等の概要

（商業実務専門課程動物看護総合学科）2019年度生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			動物形態機能学Ⅰ・Ⅱ	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学の面から学び、生命体としての動物を理解し、病態を学ぶ基礎とする	1・前後	120		○			○		○		
○			動物臨床看護学各論Ⅰ～Ⅳ	様々な疾患の症状や必要な処置、治療に関する知識を学び、動物に対しての看護方法を習得する	1後～3前	120		○			○		○		
○			動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する	2・前	30		○			○		○		
○			動物薬理学Ⅰ・Ⅱ	薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病治療への用いられ方を理解する	3・前後	60		○			○			○	
○			公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ	環境衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する	2・前後	60		○			○		○		
○			動物感染症学Ⅰ・Ⅱ	微生物や寄生虫の伝播様式や発病について学び予防・治療法など感染症対策の基礎を修得し感染防御ができるようになる。	1・前後	90		○			○		○		
○			動物臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ	基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する	1・前後	60		○			○			○	
○			動物内科看護学	日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な知識を学び、検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する	2・前	30		○			○		○		
○			動物臨床看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する	1・前	30		○			○		○		
○			動物看護学概論Ⅰ・Ⅱ	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する	1後・2前	60		○			○		○		
○			動物医療関連法規	動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する	2・後	30		○			○		○		

○		人間動物関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を理解する	3・前	30		○			○		○						
○		動物福祉・理論	動物愛護や動物福祉（アニマルウェルフェア）、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ	3・後	30		○			○		○						
○		動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する	1・前	30		○			○		○						
○		伴侶動物学 I・II	伴侶動物の歴史や品種、飼育管理法、およびエキゾチック動物の生態について学ぶ	1・前後	60		○			○								○
○		産業動物学・実験動物学（産業45・実験15）	産業動物・実験動物の歴史や品種、飼養管理法、および社会との関わりについて学ぶ	1・後	60		○			○								○
○		野生動物学	日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ	2・後	30		○			○		○						
○		動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する	2・後	30		○			○		○						
○		動物臨床検査学 I・II	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する	3・前後	60		○			○		○						
○		動物医療コミュニケーション	日常健康管理に関わる飼主教育や問診、入院動物の容態説明、院内のスタッフとのコミュニケーションについて学ぶ	3・前	30		○			○		○						
○		動物形態機能学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ	1・前	60					○		○						○
○		動物内科看護学実習 I・II	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する	1・前後	90					○		○						○ ○
○		動物臨床看護学実習	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する	3・後	60					○		○						○
○		動物臨床検査学実習 I・II	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する	2・前後	90					○		○						○ ○
○		動物外科看護学実習 I・II	手術準備や術中・術後管理、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する	1後・2前	120					○		○						○ ○

○		動物外科看護学Ⅰ・Ⅱ	外科診療に必要な知識を学び、周術期管理の流れを理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する	1後・2前	60			○			○							
○		動物看護総合実習Ⅰ～Ⅳ	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身につけた知識や技術を総合的に実践する	1後～3前	180						○		○	○				○
○		AAA実習	アニマルセラピー（AAA）など動物とのかかわりについて学び、アニマルセラピー実習を実際に行う	3・前	30						○	○		○				○
○		動物飼育実習Ⅰ・Ⅱ	コンパニオンアニマル（伴侶動物）の適切な飼育とドッグトレーニングについて学ぶ	1後・2前	60						○	○		○				
○		ペット美容学Ⅰ～Ⅳ	ペット美容に関して基礎的な知識を身につけ、トリミング技術の向上と、トリミング学科試験の対策をする	1前～3後	120			○				○		○				
○		トリミング実習Ⅰ～Ⅳ	トリミング技術の向上。及びトリマーライセンス3級の合格	1前～2後	240							○	○		○			
○		プロフェッショナルトリミング実習Ⅰ～Ⅳ	基本のカットから流行のカットまで一流のトリマーとして必要なテクニックを身につける	2前～3後	360							○	○		○			
○		PC実習	Excelの基礎知識、技能の習得、及びワープロ検定の合格	1・前	30							○	○					○
○		サービス接遇	文書作成技能の基本を身につけ、普通の文書を正しく理解し、作成する	1・前	30			○					○					○
○		ビジネス文書	サービス接遇検定2級の合格。接客業に必要な基本的な知識・技能を習得	2・後	30			○					○					○
○		ビジネススキル	社会人準備（目標 7Hj 自己分析 コミュニケーション 教養 マナー 共通目標 協力 他）	3・前後	60			○					○					○
○		ヒューマンスキルⅠ～Ⅲ	就職活動準備（目標 自己分析 企業研究 コミュニケーション 教養 一般常識 マナー 他）	1前～3後	180			○					○					○
合計				37科目	2850単位時間													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件…年間出席率80%以上、全履修科目評価C以上、指定する検定取得		1学年の学期区分	2期
履修方法…全科目必須にてクラス単位での履修		1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。